

第3回 江東区 緑の基本計画改定委員会・幹事会における意見と対応（概要）

- グレーの網掛けは会議中のやり取りで解決した議題
- 青字は意見書等でいただいたご意見

テーマ	主なご意見	対応（案）
<p>資料2 江東区のみどりの現状と課題</p>	全般 オリンピック・パラリンピックでは国内外から多くの人を訪れる。国内の人にも注目され、江東区はすごいと思われるようになるとうい。	
	区民ニーズ 教育・子育ての図を見ると、コミュニティガーデン、農園などが少ないと感じる。身近にあれば、親子で利用したいというニーズは多いと思う。区民ニーズとして、「みどりがあってよかったと感じるとき」として、「育てる・収穫する喜びが感じられる」と答えた人は14%にとどまっている。どこでどんな体験ができるか等について、もっと情報発信があとよい。現状では、CIGという言葉さえ知らない区民も多い。	みどりの情報発信の強化や普及啓発を推進するような施策を位置づけていく。
	みどりの満足度に関して、満足している理由が書かれているが、逆に満足していない理由は把握しているのか。	前回調査では設問があったが、満足している理由の裏返しであったので、今回は設問を設定していない。
	公園が増えると、区民のみどりが増えたと実感できてありがたい。整備や管理には予算がかかると思うが、落ち葉の問題等も指摘されており、整備はもちろん管理も含めて推進していただけるとよい。	公園の整備及び運営の基本的な考え方についても、今後整理していく。
<p>資料3 みどりの機能解析</p>	環境 aster衛星画像について、計画策定当初と比較し、緑地の増減と温度上昇の関係性等を分析することはできるのか。	調査日時や天候条件などが同一ではないため、厳密な比較は難しい。
	生物多様性 トンボを指標種とすることはよい。止水域がトンボの生息可能な場所として示されているが、種によっては河川など流水域でも生息可能なものもあるため、どのような種を対象としているのかを明確にしておくべきである。	昆虫調査地点10箇所のうち、「若洲橋」以外の全ての調査地点で確認された「シオカラトンボ」を主な対象とする。 ※シオカラトンボは広範な止水域に生息し、各地にもっとも普通に見られる。公園の池など人工的な水域にもすむ。基本的には流水に生息することはない。 出典： 河川生態ナレッジデータベース http://kasenseitai.nilim.go.jp/シオカラトンボ
		トンボを指標種とすることは、広く生き物の多様性を評価することにもつながることであり、よい。ただし、種を絞ることは必要である。
	ポケットエコスペースの凡例について、「生物多様性」と「子育て・教育」で異なっているが、意図があるのか。	特別な意図はないため統一する。
	ポケットエコスペースが減っている理由や課題についても整理しておくべきである。	ポケットエコスペースの数は年々増加している。ボランティアの高齢化等の問題については、「CIG 区民サポーター会議・区民団体からの意見」の章で整理している。
	子育て・教育 例えばキャンプができる若洲公園など、アウトドア活動ができる場所も子育て・教育の資源として表示するとよい。	水上アスレチックやじゃぶじゃぶ池などの資源もあるため、それらの資源を「アウトドア活動ができるスポット」として追記する。
	コミュニティ形成 「コミュニティガーデン」と「住宅団地のオープンスペース」の凡例が見分けづらいため修正すること。	修正する。
世代ごとの楽しみ、世代間の交流もあるかと思う。そうした視点が反映できるとよい。 文化センター等は、講座等を開催する際に活用できるため、関連する資源として表示するとよい。		今後の施策で検討する。 文化センターを追記する。

テーマ	主なご意見	対応（案）
歴史・文化	歴史・文化の普及啓発も大切である。それにあたって、文化センター等が活用できるため、ここでもそれらを表示するとよい。	文化センターを追記する。
防災・減災	地域防災計画において、「防災空地」の指定があるので表示するとよい。	防災空地は主に区立公園等が指定されており、公園は記載されているので、地域防災計画と一致している。
健康・福祉	江東区の特徴である河川や水路、緑道をどのように評価するかが大切である。健康・福祉の側面からは、連結性も重要だが、その点について問題点・課題で触れられていない。ウォーキングのほかにも、避難路や生き物の移動経路としても連結性は重要である。	健康・福祉および防災・減災の観点からも、連続性を高めることが課題であることを記載する。
	施設の分布だけでなく、健康・福祉関連のプログラムの実施状況についても表示できるとよい。生物多様性に関しては、生き物観察等のプログラム等もあると思う。	プログラムの実施状況についてはスペースの都合上、全てを図で紹介することが難しいため、プログラム等も実施されている旨を文章で記載する。
全般	大きな公園は公園名が入っているとわかりやすい。	統一する。
	江東区のイメージはよくなってきている。機能解析の資料を見ると、区内にはみどりに関する多くの資源があることがわかる。じゃぶじゃぶ池なども、ぜひ入れていただきたい。	じゃぶじゃぶ池なども追加する。
	区民の皆さんは、身近な公園の魅力は知っていても、住んでいる地域以外のことは知らないかもしれない。この解析結果が一目瞭然でわかるようにブラッシュアップされると、区民の皆さんに江東区のみどりの魅力を知ってもらえるものになると思う。	みどりの情報発信の強化や普及啓発を推進するような施策を推進する上での参考とさせていただきます。
	全体として公共の取組みが中心で、事業者の取組みが反映されていない。NEC による新木場駅でのハープガーデンづくりや竹中工務店の取組み、ディベロッパーとの協働による亀戸六丁目公園の公園づくりなど、民間は先進的な取組みをしている。それを追記するとよい。	民間事業者の取組みについては、把握できないものが多くあると考えられるため、機能分析には記載せず、施策の検討の中で考慮していく。
	各資料に、オリパラの施設を記載すべき。	記載する。
	中央防波堤も記載しておくべき。	地図を掲載する際、切れている箇所がある（資料2, 3, 4）ので入れる。
	田んぼの学校、えこつくるピオトープ、新砂干潟、越中島小ピオトープの表示がない。	記載する。
	船の科学館駅については、名称変更予定である。	新名称を反映する。
資料4 計画の 理念、 将来構 造、基 本方針、 目標	みどりの 将来構 造 「拠点」の役割がわからない。「みどりの拠点となる大規模な公園において」との記載は、単に大きいからという理由で拠点になっているように捉えられてしまう。	「みどりの拠点」の位置づけについて、単に大きいからという理由であるとの誤解を避けるため、「みどりの多様な機能を発揮し、地域の中心となる公園緑地」と修正する。
大きな公園だけが拠点になっているが、小さな公園にも防災やコミュニティなどの機能がある。大規模な公園だけが拠点でなく、小さな公園も拠点としてとらえていくことが必要ではないか。		
今後は、大規模な公園・小規模な公園の役割分担が必要になるのではないか。	今後、具体的に検討する。	
「みどりの拠点」は個人的には現行のままがシンプルで区民には浸透しやすいと考えます。		
区全域が緑化重点地区となっているが、今後、地区別取り組み方針をまとめるのであれば、地区ごとの個性を踏まえてどのような魅力づくりをしていくのか、検討していく必要がある。		

テーマ	主なご意見	対応（案）
基本方針	「みどりをみんなで守り育てます」という文言自体はよいが、具体的な施策にどのようにつなげていくかが重要である。江東区はこれまでも区民との協働の取組みは進められてきたが、今後は事業者との連携も重要である。	今後、検討する。
	4つの方針はわかりやすくよい。	-
	4つの方針はよいと思うが、より引き付けられるようなインパクトのある表現があるとよい。「みどりをより柔軟につかえる」というだけでなく、「楽しんで使える」、「健康維持につながる」などが感じられる表現があるとよい。	方針の文言はシンプルさ・わかりやすさを重視してそのままし、「楽しんで使える」「健康維持につながる」等は、方針を解説する文章や施策の中で表現することとする。
	「みどりをより柔軟につかえる」というのは、みどり（植物）が減少する方向につながらないか、心配である。	
目標	区民評価に関する目標を位置づけることは良いが、この指標にした理由づけを明確にした方がよい。	「区民評価に関する目標」及び「計画の達成状況を示す目標」の数値については、来年度、施策の検討も踏まえて設定する。
	区民評価に関する目標を位置づけることは良い。	
	「計画の達成状況を示す目標」について、数値を示した方がよい。	
	「みどりをより柔軟に使えるようにします」の区民評価目標は「週一回以上公園もしくは水辺もしくは潮風の散歩道を利用している」と変更されると、施策の結果が数値化しやすくなると考えます。	
	緑被率について、平成 24 年度比で減少している。今後、目標達成を目指す上では、民間に協力を求めるだけでは限界があるといった課題も整理しておく必要がある。例えば、代償措置義務付けや、新規の大型建築物について屋上緑化（または広い意味でのみどりということ太陽光パネル）を義務付けるようなことが必要になるかと思う。	
	新長計の成果指標と整合が図られるように。	今後、新長計の成果指標との整合を図るよう留意する。
施策イメージ	アイデアとして、例えばふるさと納税やクラウドファンディングのような仕組みを活用することも考えられないか。ふるさと納税の返礼品として、区内の農園を利用する権利を贈るようなイメージで、区民に何らかのメリットがあるとよい。	税のあり方も踏まえ、施策については今後、検討する。
	小規模公園は、「みどりをみんなで守りそだてます」の目標の施策にいて区民主体で小規模公園の美化対応するのはいかがでしょうか。付随して、「みどりを水彩都市・江東の魅力づくりに活かします」の施策イメージにある「地域緑化の推進」「コミュニティガーデンの普及」・「地域ぐるみの緑化推進」も「みどりをみんなで守りそだてます」の施策に変更することも可能かと存じます。	
	個人的には、生垣がもっと増えるとよいと思う。	